

看護学科

統合基礎看護学講座

基礎看護学領域

原著論文

- 1 Orihashi R, Imamura Y, Kunitake Y, Mizoguchi Y: Correlation between brain-derived neurotrophic factor and oxytocin in older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics Plus. 1(4): 100059, 2024, 12.
- 2 Orihashi R, Imamura Y, Mizoguchi Y: Association between sTREM2, an immune biomarker of microglial activation, and frontal lobe function in community-dwelling older adults: a cross-sectional study. Journal of Rural Medicine. 19(3): 186-191, 2024, 7.
- 3 Shibayama K, Furushima C, Saka M, Sakamoto T, Takahashi H: Barriers to lifestyle modification in patients with non-alcoholic fatty liver disease: a scoping review. Journal of rural medicine, 19(1), 1-9, 2024, 1.

総説

- 1 Orihashi R, Mizoguchi Y: Oxytocin for maintaining mental health in older adults: Archives of Gerontology and Geriatrics Plus. 1(4): 100090, 2024, 12.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Furushima C, Fukuyama Y, Sakamoto T, Shibayama K: Skin Care for Patients with Heart Failure: Assessment of Skin Conditions in Outpatients with Heart Failure. 13th Asian Society of Human Services Congress. 2024, 8, 23. 13th Asian Society of Human Services Congress Proceeding.

国内全国規模の学会

- 1 *新地浩一, 柴山 薫, 松永妃都美, 石橋秋奈, 野中良恵, 南嶋里佳, 田中沙恵, 福山由美: 佐賀大学大学院における多職種連携をめざした実践的な災害看護教育の紹介 国内外における Civilian-Military Collaboration の実践経験. 第29回日本災害医学会総会学術集会. 2024, 2, 22-24.
- 2 柴山 薫, 坂美奈子, 坂本貴子, 矢田ともみ, 江口有一郎, 高橋宏和: 非アルコール性脂肪性肝疾患患者における健康的行動継続のための「機会」に着目した支援の方策. 第60回日本肝臓学会総会. 2024, 6, 13-14.
- 3 *福田清子, 坂本貴子, 柴山 薫: 卒後2年目看護師の看護実践能力に関する他者支援の検討. 第26日本医療マネジメント学会学術集会. 2024, 6, 21-22.
- 4 檜崎陽子, 坂本貴子, 柴山 薫, 平田歌織: 管理職に必要な概念化能力に関する文献検討. 第28回日本看護管理学会学術集会. 2024, 8, 23-24.
- 5 中野芳江, 坂本貴子, 柴山 薫, 平田歌織: 病院に勤務する教育責任者の役割行動に関する文献検討. 第28回日本看護管理学会学術集会. 2024, 8, 23-24.
- 6 *坂美奈子, 坂本貴子, 柴山 薫: 熟練看護教員の授業構築における複合的知識. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.

- 7 坂本貴子, 柴山 薫, 坂美奈子, 福田広美: 看護師長のインナーワークライフ形成につながる上司から受ける支援に関する文献レビュー. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 8 *秋永和之, 柴山 薫, 高橋公一, 高野佳範, 矢野潔子: 情報伝達がどこまで信じるべきか? ~同じ時間・場所で同一動画を視聴した場合~. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 9 福山由美, 堀口奈緒子, 古島智恵: 高齢者施設における排泄ケア介入研究の文献レビュー. 第29回日本在宅ケア学会学術集会. 2024, 8, 24-25.
- 10 古島智恵, 福山由美, 坂本貴子, 柴山 薫: 外来心不全患者の掻痒の有症率および影響因子の検討. 第22回日本看護技術学会学術集会. 2024, 10, 26-27.
- 11 *堀口奈緒子, 福山由美, 江里口八千代, 上野幸子, 古島智恵: 施設における認知症高齢者の排便ケアに関するスコーピングレビュー. 第29回日本在宅ケア学会学術集会. 2024, 8, 24-25.

地方規模の学会

- 1 折橋隆三, 藤野成美, 溝口義人: 地域在住の高齢者における BDNF とオキシトシンの相関関係. 第76回九州精神神経学会. 2024, 11, 28-29.
- 2 柴山 薫, 坂本貴子: 医療施設における動機づけ面接に関する文献検討. 日本医療マネジメント学会 第21回九州山口連合大会. 2024, 12, 6-7.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
助 教	折橋 隆三	科学研究費助成事業	若手研究	1	高齢者の認知機能低下発現を予測するバイオマーカーの開発	910 (700)
助 教	平田 歌織	科学研究費助成事業	研 究 活 動 ス タート支援	1	精神疾患合併妊婦のリハビリと母親役割獲得を促す看護モデル開発にむけた基礎研究	520
講 師	柴山 薫	科学研究費助成事業	若手研究	1	非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) 患者の生活改善を促す教材開発と検証	1170
講 師	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	50
講 師	柴山 薫	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	中小規模病院に勤務する看護師長のパフォーマンス向上支援モデルの開発	50
准教授	古島 智恵	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	1,170
准教授	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	中小規模病院に勤務する看護師長のパフォーマンス向上支援モデルの開発	3,250
准教授	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	TEA とイメージネーションが拓く文化を創造する看護教員の力量形成プログラム開発	50
准教授	坂本 貴子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	看護師のワーク・エンゲイジメントを向上させるためのプログラム開発	50

※ () は繰越金で外数

学術（学会）賞

職 名	氏 名	学術（学会）賞名	受 賞 課 題
准教授	古島 智恵	日本看護技術学会第22回学術集会優秀演題	外来心不全患者の掻痒の有症率および影響因子の検討

臨床機能形態学領域

原著論文

- 1 *Murata M, Sugimoto M, Ueshima S, Nagami Y, Ominami M, Sawaya M, Nakatani Y, Furumoto Y, Dohi O, Sumiyoshi T, Fukuzawa M, Tsuji S, Miyahara K, Takeuchi Y, Suzuki S, Tominaga N, Yagi N, Osawa S, Sakata Y, Yamada T, Yoshizawa Y, Yamauchi A, Yamamura T, Orihara S, Miyamoto S, Matsuda S, Hira D, Terada T, Katsura T, Gotoda T, Fujishiro M, Kawai T: Association of direct oral anticoagulant and delayed bleeding with pharmacokinetics after endoscopic submucosal dissection. *Gastrointest Endosc*. 2024. 99(5): 721-731. e4. doi: 10.1016/j.gie. 2023, 12.
- 2 *Makuuchi M, Kakuta Y, Umeno J, Fujii T, Takagawa T, Ibuka T, Miura M, Sasaki Y, Takahashi S, Nakase H, Kiyohara H, Tominaga K, Shimodaira Y, Hiraoka S, Ueno N, Yanai S, Yoshihara T, Kakimoto K, Matsuoka K, Hayashi R, Nanjo S, Iwama I, Ishiguro Y, Chiba H, Endo K, Kagaya T, Fukuda T, Sakata Y, Kudo T, Takagi T, Takahashi K, Naganuma M, Shinozaki M, Ogata N, Tanaka H, Narimatsu K, Miyazaki H, Ishige T, Onodera M, Hashimoto Y, Nagai H, Shimoyama Y, Naito T, Moroi R, Shiga H; Post-MENDEL study group; Kinouchi Y, Andoh A, Hisamatsu T, Masamune A: Real-world NUDT15 genotyping and thiopurine treatment optimization in inflammatory bowel disease: a multicenter study. *J Gastroenterol*. 2024 59(6): 468-482. doi: 10.1007/s00535-024-02099-7, 2024, 6.

総説

- 1 坂田資尚, 江崎幹宏: 【大腸の炎症を内視鏡で診る】 Crohn 病の内視鏡診療 内視鏡による治療効果の判定と再燃予測. *消化器内視鏡* 36巻11号 p1532-1535, 2024, 11.
- 2 坂田資尚, 江崎幹宏: 【感染症を鑑別したあとは? 非感染性腸炎を見極める!】 非感染性腸炎の由来から見極める 薬剤や治療によりきたす医原性の腸炎. *診断と治療* 112巻3号 p284-288, 2024, 3.
- 3 *藤城光弘, 井口幹崇, 小野敏嗣, 船坂好平, 坂田資尚, 三上達也, 片岡幹統, 島岡俊治, 道田知樹, 五十嵐良典, 田中信治: 日本消化器内視鏡学会 非静脈瘤性上部消化管出血における内視鏡診療ガイドライン (第2版). *Gastroenterological Endoscopy* 66巻7号 p1515-1538, 2024, 7.

症例報告

- 1 °Takedomi H, Fukuda K, Inoue S, Tsuruoka N, Sakata Y, Aoki S, Esaki M: Combined eosinophilic gastroenteritis and ulcerative colitis successfully treated by vedolizumab: a case report. *Intest Res*. 2024 doi: 10.5217/ir.2024.00013, 2024, 8.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 °鶴岡ななえ, 坂田資尚, 垣内俊彦: 若年者除菌その後 *Helicobacter pylori* 除菌療法成功後に発見された若年発症進行胃癌の一例. 第30回日本ヘリコバクター学会学術集会. 2024, 6, 21.
- 2 °武富啓展, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 青木茂久, 江崎幹宏: ベドリズマブが奏功した潰瘍性大腸炎に合併した好酸球性胃腸炎の1例. 第7回アレルギー消化器疾患研究会. 2024, 9, 7.

地方規模の学会

- 1 *遠藤広貴, 水口昌伸, 藤本一眞, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 下田 良, 中原 伸, 朝長道生, 松本洋

二、野田隆博，後藤祐大，梶原哲郎，原田良策，森山幹夫，下田悠一郎，緒方伸一，江崎幹宏：佐賀県対策型胃内視鏡検診導入6年目（令和4年度）の結果報告．第53回日本消化器がん検診学会九州地方会．2024，9，28.

- 2 ○鶴岡ななえ，貞島健人，武富啓展，芥川剛至，坂田資尚，真鍋達也，江崎幹宏：当院におけるクローン病肛門病変の現状．大腸肛門病学会・九州地方会．2024，9，21.

その他の学会

- 1 坂田資尚：慢性便秘症治療における薬剤の使い分け．便通異常症診療ガイドライン2023インターネットライブセミナー．2024，1，24.
- 2 坂田資尚：上部消化管疾患に対する漢方治療．宇佐市消化器病懇親会．2024，5，16.
- 3 坂田資尚：UC治療のUpToDate．第1回筑後消化管Seminar．2024，5，15.
- 4 坂田資尚：佐賀県における対策型内視鏡検診の現状～年次報告～．第171回佐賀県胃癌大腸癌検診医会研修会．2024，3，9.
- 5 坂田資尚：炎症性腸疾患の最新治療について．佐賀IBD縁笑会．2024，7，7.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	坂田 資尚	科学研究費補助金	基盤研究◎	1	潰瘍性大腸炎慢性化機序の解明と新たな治療戦略の構築	1,100

精神看護学領域

原著論文

- 1 *菊池洋子，藤野成美，古野貴臣，藤本裕二：1型糖尿病患者児を療育する親のストレス反応に関連する要因．日本在宅看護学会誌，12(2)：5-14，2024，3.
- 2 Yuichi Iwamoto, Narumi Fujino, Takaomi Furuno, Yuji Fujimoto, Yuki Kamada: Applicability of the Self-Evaluation Scale of Nursing Practices for Improving Sleep Quality Among Patients with Dementia Taking Sleeping Pills to General Nurses. Journal of the Japanese Association of Rural Medicine, 19(2): 92-104, 2024, 4.
- 3 藤本裕二，楠葉洋子，松浦江美，古野貴臣，藤野成美：地域で生活する統合失調症当事者の身体活動量とリカバリーとの関連．医学と生物学，164(3)：1-9，2024，8.
- 4 *鎌田ゆき，藤野成美，古野貴臣，藤本裕二，岩本祐一：児童・思春期精神科訪問看護実践における看護師の視点－精神科訪問看護師のインタビュー調査に基づいて－．日本精神保健看護学会誌，33(2)：50-58，2024，11.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 *佐保直子，古野貴臣，藤本裕二，岩本祐一，上岡奈美，藤野成美：精神科看護職のプレゼンティズムに関連する要因．日本精神保健看護学会 第34回学術集会．2024，6，1-2.
- 2 *脇崎裕子，古野貴臣，藤本裕二，藤野成美：認知症高齢者の認知症症状およびADLベンゾジアゼピン系薬剤内服有無による比較．第44回日本看護科学学会学術集会．2024，12，7-8.

- 3 *鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣, 岩本祐一, 藤本裕二, 平原直子: 母親による学齢期発達障害児の虐待予防に介入した経験を有する精神科訪問看護師の看護実践. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.

地方規模の学会

- 1 *緒方颯希, 林 愛, 柿本実穂, 宮崎あゆみ, 藤野成美: 要介護認知症高齢者に対する携帯型エコーを用いたコンチネンスケア. 第69回九州精神医療学会. 2024, 11, 28-29.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
教 授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	社会的ハイリスク妊婦へのヘルスリテラシー向上にむけた支援モデルの開発	100
准教授	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	VBPに基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	780
教 授	藤野 成美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	BPSDにより精神科病院に入院中の認知症者に対する多職種コンチネンスケアモデル開発	300
准教授	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	BPSDにより精神科病院に入院中の認知症者に対する多職種コンチネンスケアモデル開発	200
准教授	藤本 裕二	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	民間精神科看護師の看護実践能力の現状及びリカバリーに関する研修プログラムの構築	26

在宅看護学領域

原著論文

- 1 *鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣, 藤本裕二, 岩本祐一: 児童・思春期精神科訪問看護実践における看護師の視点－精神科訪問看護師のインタビューに基づいて－. 日本精神保健看護学会誌 33巻2号 p.50-58, 2024.
- 2 ○藤本裕二, 楠葉洋子, 松浦江美, 古野貴臣, 藤野成美: 地域で生活する統合失調症者の身体活動量とリカバリーとの関連. 医学と生物学 164巻3号, 2024.
- 3 *Yuichi Iwamoto, Narumi Fujino, Takaomi Furuno, Yuji Fujimoto, Yuki Kamada: Applicability of the Self-Evaluation Scale of Nursing Practices for Improving Sleep Quality Among Patients with Dementia Taking Sleeping Pills to General Nurses. Journal of Rural Medicine 19(2): 92-104, 2024.
- 4 *菊池洋子, 古野貴臣, 藤本裕二, 藤野成美: 1型糖尿病患者を療育する親のストレス反応に関連する要因. 日本在宅看護学会誌 12(2) p.5-14, 2024.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Chie Furushima, Yumi Fukuyama, Takako Sakamoto, Kaoru Shibayama: Skin Care for Patients with Heart Failure: Assessment of Skin Conditions in Outpatients with Heart Failure. 13th Asian Society of Human Services Congress. 2024, 8, 23. 13th Asian Society of Human Services Congress Proceeding.

国内全国規模の学会

- 1 脇崎裕子, 古野貴臣, 藤本裕二, 藤野成美: 認知症高齢者の認知症症状および ADL におけるベンゾジアゼピン系薬剤内服の有無による比較. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 2 鎌田ゆき, 藤野成美, 古野貴臣, 岩本祐一, 藤本裕二, 平原直子: 母親による学齢期発達障害児の虐待予防に介入した経験を有する精神科訪問看護師の看護実践. 第44回日本看護科学学会学術集会. 2024, 12, 7-8.
- 3 *佐保直子, 古野貴臣, 藤本裕二, 岩本祐一, 上岡奈美, 藤野成美: 精神科看護職のプレゼンティズムに関連する要因. 第34回日本精神保健看護学会学術集会. 2024, 6, 1-2.
- 4 *秋山明子, 福山由美: 農業活動が健康増進に与える影響に関する文献検討. 第73回日本農村医学会学術総会. 2024, 6, 14-15.
- 5 ○新地浩一, 柴山 薫, 松永ひとみ, 石橋秋奈, 野中良恵, 南島里佳, 田中紗恵, 福山由美: 佐賀大学大学院における多職種連携をめざした実践的な災害看護教育の紹介—国内外における Civilian-Military Collaboration の実践経験—. 第29回日本災害医学会総会・学術巣湯会. 2024, 2, 22-24.
- 6 堀口奈緒子, 福山由美, 江里口八千代, 上野幸子, 古島智恵: 施設における認知症高齢者の排便ケアに関するスコーピングレビュー. 第29回日本在宅ケア学会学術集会. 2024, 8, 24-25.
- 7 福山由美, 堀口奈緒子, 古島智恵: 高齢者施設における排泄ケア介入研究の文献レビュー. 第29回日本在宅ケア学会学術集会. 2024, 8, 24-25.
- 8 古島智恵, 福山由美, 坂本貴子, 柴山 薫: 外来心不全患者の掻痒の有症率および影響因子の検討. 第22回日本看護技術学会. 2024, 10, 26-27.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
講 師	古野 貴臣	日本学術振興会 科学研究費助成事業	若手研究	1	ハームリダクションを基盤とした独居高齢者に対する節酒支援モデルの開発と検証	1,560
講 師	古野 貴臣	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	VBP に基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	26
講 師	古野 貴臣	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	VBP に基づく共同創造による精神障がい者のパーソナルリカバリー支援モデルの開発	13
講 師	古野 貴臣	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	BPSD により精神科病院に入院中の認知症者に対する多職種コンチネンスケアモデル開発	50
准教授	福山 由美	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	在宅看護・介護者に向けたハイブリッド型教育・相談支援体制の構築とその評価	650
准教授	福山 由美	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	心不全患者の掻痒感緩和に向けた看護技術の確立と効果検証	130
准教授	福山 由美	令和 6 年度 JA 共済連委託研究		2	農業活動を介護予防・健康維持の資源として活用するための要件の検討	400
准教授	福山 由美	日本学術振興会 科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	地震・津波及び風水害を想定した防災・避難シミュレーションゲームの開発と評価	100

臨床心理学領域

著 書

- 1 村久保雅孝：私の時間／私と増井先生の時間. 私の治療的面接の世界とスーパーバイズ 第Ⅱ部 133-141, 2024, 9, 創元社, 大阪.